

光、最先端をめざして
IWASAKI

セラルクスランプ取扱説明書

保存用

このたびは、セラルクスランプをお買上げ戴きまして誠にありがとうございました。

使用者様へ
ご使用に際し下記の事項をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保管してください。

施工者様へ
この取扱説明書は、工事が終了しましたら照明設備を保守管理される方にお渡しください。

〈安全上の注意〉

⚠ 警告



- ランプの外管（ガラス球）が割れたままでは、絶対に使用しないでください。紫外放射による目や皮膚の障害及び破損落下などの原因となります。
- 紙や布でおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。火災や灯具過熱の原因となります。
- 取付け、取外しや器具清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 必ず適合した安定器・照明器具で使用してください。火災・発煙・過熱やランプ破損によるケガの原因となります。

⚠ 注意

ランプの取り扱い

- 落としたり、物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。特に器具の清掃のときは、ご注意ください。破損した場合、ケガの原因となることがあります。
- 点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので絶対に手や肌などをふれないでください。ヤケドの原因となることがあります。
- ソケットに取付けるとき、ランプをまっすぐに挿入しランプが回らなくなるまで十分にねじ込んでください。ランプの落下や接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。
- ランプに塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損によるケガの原因となることがあります。

安定器、照明器具

- 雨や水滴のかかる状態や、湿気の高いところで使用しないでください。絶縁不良、破損、落下などによるケガの原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気（ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵など）で使用しないでください。火災や爆発の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは、ランプの使用はしないでください。特性不良や落下の原因となります。
- 酸などの腐食性雰囲気のあるところでは、一般器具によるランプの使用はしないでください。漏電や落下の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは、一般器具によるランプの使用はしないでください。器具の過熱の原因となることがあります。

ランプの点灯

- 点滅を繰返すなど、正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切ってランプを交換してください。安定器焼損、配線または器具の絶縁劣化の原因となることがあります。
- ランプから近距離のところでは長時間作業をしたりランプを直視しないでください。紫外放射による目や皮膚の障害の原因となることがあります。
- 退色を極度にさけたい場合には使用しないでください。
- 定格寿命を経過したランプは交換をおすすめします。まれに破損する原因となることがあります。
- 連続点灯で使用する場合は、ランプ異常の有無を確認するため、一週間に一度は消灯してください。ランプ異常により、まれに安定器が焼損することがあります。

その他

- 使用済みのランプは割らずに破棄してください。ランプを割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。

〈ご使用上の注意〉

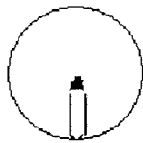
ランプ

- ハイラックス、セラルクス専用の安定器（始動パルス電圧3.5kV以下）を推奨いたします。
- 下表のランプは電子式安定器専用です。

・ 高効率・調光可能形 ・ 35W形

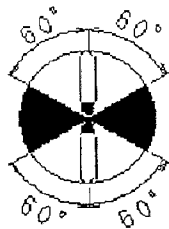
- 高効率・調光可能形以外のランプを調光して使用すると、短寿命、不点灯、特性変化などの不具合をおこす場合があります。
- 調光を行う際には、適合する調光機能付専用電子安定器をご使用ください。
電源投入後、5分間は調光しないでください。
調光を行った場合、ランプの相関色温度が10%程度変化します。
- 点灯後、光色が安定するまでの時間は5～10分です。
- 再始動時間は約15分です。
照明器具の構造、設置場所の環境によってはランプの冷却に要する時間が異なり、再始動に必要な時間も変化いたします。
- ランプ個々に若干の光色（色温度）のバラツキがみられる場合があります。
また、カタログ等に記載してあるランプ特性は点灯100時間値を基準にしてあります。
ランプを取り付けてからの点灯初期に、特性が若干変化するものもあります。
- 屋外などランプに直接水がかかるおそれのある場所では防水型の照明器具でご使用ください。
- 周囲温度は-10℃～40℃の範囲内でご使用ください。
- ランプ外球（ガラス）が万一破損した場合にはそのまま点灯することは絶対避けてください。
紫外放射による目や皮膚の障害や破損したガラスが落下するおそれがあり、大変危険です。
- 急激な電圧降下（5%以上）がある場合、ランプが消灯することがあります。
- 点灯方向には制限があります。ランプの形式末尾符号をご確認のうえ、以下に記載する範囲内でご使用ください。

S、S-G

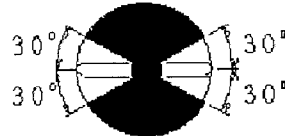


任意点灯

BUD



BH



□ 使用可
■ 使用不可

使用可能範囲内においても、点灯方向によりランプの光色に若干の変化があります。

安定器

- 電源電圧は指定された電圧の±6%範囲内で使用してください。
- 安定器からランプ（ソケット）までの配線長は安定器の表示値以下になるようにしてください。
始動用パルス電圧が低下しランプが始動しないおそれがあります。
また、テスター等での2次電圧の測定もお避けください。テスターの故障の原因となります。
- セラルクスランプの口金はE26です。
ランプ交換の際、品種をご確認ください。
万一、組み合わせを間違えますとランプや安定器が短寿命になったり光色が変わります。

表示、仕様については、予めお断りなく変更する場合があります。